

キャッシュレス社会で

近年、子どもたちの間でもスマートフォン利用が広がり、ゲームやアプリへの課金が身近なものになっていきます。以前はお小遣いを現金で受け取り、使い道が目に見えていましたが、今では電子マネーやプリペイドカードを通じて手軽に課金できるようになりました。その結果、金銭感覚が育ちにくく、気づかぬうちに高額な支出になってしまいうこともあります。

また、キャッシュレス化が進む中で、「お金を使う実感」を持ちにくくなっていく点も心配です。これからますます現金を使う機会が減ると予想される今こそ、「見えないお金」について教える機会が大切になってきています。お金の使い方や価値を理解し、責任を持って管理できる力を育むことが、これからの時代を生きる子どもたちに必要な学びといえるのではないのでしょうか。

移動教室で

先日、小学校の移動教室があり、お土産を買うのも楽しみの一つだった5年生の娘。お小遣いは2000円以内。家族にはたくさん入っているお菓子を買って、姉ちゃんにはキーホルダーかな。自分用にも何か買いたいなあ。と出発前に悩んでいた。

そんな娘に「みんなのお土産を買ってくれようとする気持ちはいけれど、キーホルダーとかも今は700〜800円するものもあるし、お小遣いもすぐになくなるよ。せっかくの移動教室なのだから、まずは自分のもの優先で買い物を楽しみなさい。」と話した。

帰ってきた娘は気に入って買ったというキーホルダーを満面の笑みで見せてくれた。他に買ったお菓子を披露しながら、「物価高は大変だな〜！」と娘は笑った。昔よりも厳しいやりくりをしなければいけない中だったと思うが、良い思い出になったのならなによりと思う。

子どもがお金に興味を持ったきっかけ



大谷選手がドジャースと契約した当時、その年俸の額が大きな話題になりました。

メディアでは「時給に換算するといくら」と報じられ、その金額に驚いた人も多かったと思います。当時まだ小学1年生だった娘は、お金というものを意識したことがあります。しかし、そのニュースに興味を持ってからは、「これは大谷選手なら1

金銭感覚は正しく育ったと思う。その為というわけではないかもしれないが教育費にお金がかからず、大学卒業後の長男から「ここまで来たから家の中の物を何かワンランクアップしたら」と言われ思わず笑ってしまいました。

キャッシュレス化

私のキャッシュレス化は十数年前から、スイカをオートチャージに、買い物はクレジットカードに。今のところ、現金を使うのは、かかりつけのお医者さんや個人商店くらいです。ほんとに楽ちゃん、便利になりました。使い始め当初は現金を出さないから使いすぎるのでは？との懸念がありました。何とか大丈夫でした。他にも、スマホで支払いができるので、おこずかいを電子マネーで貰うという子もいるそうですね。子どもにも、キャッシュレス化が広がっているようです。

私の子育て時代からは考えられないです。子ども達は50円、100円玉を握りしめ、近所に2件あった駄菓子屋さんへ行くのが楽しみでした。さんざん悩みながら品定めをしていたものでした。これからは子どももほとんど現金に触れずに生活していくのでしょうかね。

お金の勉強

我が家には高校受験を控えた娘がいます。現在、高校生までの授業料が無償化になりましたが、それでも入学金や入学時納入金など、支払うべきお金は少なくありません。

私立高校向けの助成金や貸付などもあります。しかし、全てを払った上で申請で返還されるシステムは、やっぱり全ての子どもが気兼ねなく私立高校を目指す理想とは程遠い気がします。学校では教えるべきことなのでしょうが、年々物価が高くなり、働くので精一杯の親世代には、とても荷が重いなと感じます。

かく言う私も、お小遣いでお金の勉強を、と頑張っていた時期もありました。それでもなかなかそのまですて手回らず、どうやって子どもたちにお金の勉強をさせようかと悩む日々です。最近はずいぶんお金の本が出版されています。近々娘たちと一緒に、私も一から勉強をしてみようかなと考えています。

ご協力頂いた委員・青年リーダーの皆様（大活躍です！）ありがとうございました

参加青年リーダーより

「ぐんま昆虫の森」での野外活動に、トウギヤザル事業として参加させていただきました。実踏の段階から関わらせていただけたので、当日の流れが掴みやすく、連携もスムーズに行うことができました。また、活動にも積極的に参加してくださる方ばかりで、温かい空気を作っていただき、大変助かりました。特にビンゴ大会では、ビンゴが出る度にバケツリレー方式で協力して景品を届けてくださる様子がとても印象的でした。ぜひまた参加させてください。

青年リーダーとは？

練馬区青少年委員会が主催する「ジュニアリーダー養成講習会」は、小学5年生から中学3年生までを対象に、仲間づくりや自然体験を通して成長できるプログラムです。将来、地域や学校でリーダーとして活躍するための土台を作ることを目的に、アウトドア活動やキャンプ、レクリエーション、さまざまな講習が用意されています。そしてジュニアリーダーを卒業した子どもたちが高校生・大学生になり、青年リーダーとして次世代のジュニア講習会のお手伝いをしていきます。初めてでも青年リーダー、各小学校から選出された青少年委員が丁寧にサポートするので安心です。学年や学校を超えた友達ができ、一緒に協力しながら挑戦することで、自然と自信や思いやりも育まれます。地域の仲間と学び合い、未来の自分に役立つ貴重な体験がいっぱいの講習会です。元気にチャレンジしたい皆さんの参加を心からお待ちしています。

第2回 体験学習事業実施報告

10月26日(日)に体験学習事業として「いもほり」を計画していましたが、当日は季節外れの冷たい雨との天気予報のため、残念ながら中止としました。

委員研修

10月17日(金) 参加者20名  
委員研修の行き先は日光白根山。群馬県と栃木県の両側にまたがる標高2500メートル、日本国内では北関東以北で最高峰との山とのことです。

「白根山」と言えば東側の日光方面からアプローチしたことしかありませんでしたが、今回は群馬県

